

学校再編ニュース

《第5号》(平成24年5月14日発行)



《発行》小樽市教育委員会(適正配置担当)
電話 0134-32-4111(内線 533)
FAX 0134-33-6608
Eメール gakko-tekisei@city.otaru.lg.jp

市民の皆さんの理解と協力により学校再編を進めていきます

学校再編の状況についてお知らせします (平成24年2月10日以降)

今回は、2月10日以降に開催した「塩谷・長橋地区」「高島・手宮地区」「中央・山手地区」の学校再編についての懇談会の状況や、4月に潮見台小、花園小と統合した量徳小の統合協議会の経過、そして量徳小閉校式などについてお知らせします。

また、学校再編に合わせて、今年度を実施する学校施設の整備などについてもお知らせします。



『小樽市立量徳小学校閉校式』
138年の長い歴史に幕を閉じた量徳小で、2月18日に閉校式を行いました(詳しくは、5ページを御覧ください)。

この学校再編ニュースは、市のホームページに掲載しています。

小樽市 学校再編

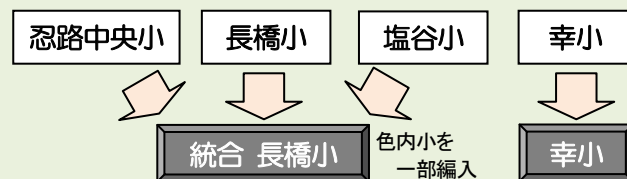
検索

ホームページを
リニューアルしました!

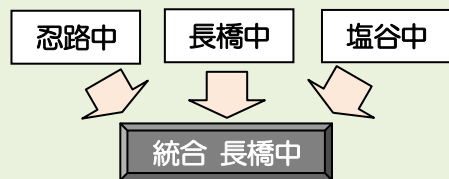
塩谷・長橋地区

《教育委員会のプラン》 ※この地区は中学校の再編を先行します

【小学校】… 4校→2校



【中学校】… 3校→1校



●これまでの経過 (忍路中央小・忍路中)

平成23年7月12日開催の忍路中央小・忍路中合同懇談会(保護者・地域)では、忍路地区の学校再編について反対であること、また、統合による通学路の安全性や通学距離が長くなることへの不安などの意見がありました。

懇談会の開催状況 平成24年2月15日 忍路中央小・忍路中合同(保護者・地域)

今回の懇談会では、忍路地区の学校再編の考え方と小規模特認校の状況について話し合いました。

■ 懇談会での教育委員会からの提案・説明内容 ■

- 忍路地区の小中学校の再編は、長橋小及び長橋中を統合校として再編するが、通学路の安全確保として忍路防災事業の完了の見通しがついた段階で話し合いたい旨、教育委員会の考え方を説明しました。
- 平成23年7月12日の懇談会で、保護者から小規模特認校の試験的な導入について提案があったため、特認校の制度、道内の主な都市の設置状況や学校規模の現状などについて説明しました。なお、適正化基本計画では、特定の学校を小規模特認校として存続していく考えはない旨説明しました。

◆ 懇談会に参加者された方からの意見など ◆

【保護者から】

- ◆ 次回の話し合い時期は、通学路の安全確保対策としての忍路防災事業や塩谷防災事業の完了が目途となるのかとの質問があり、教育委員会から、道路やトンネルの整備がされることで通学路の安全が確保されると考えており、当該事業のスケジュールの目途がついた段階で話し合いたい旨説明しました。
- ◆ 忍路防災事業完了までしばらく時間があることから、今後通学区内の実態調査を行う予定はないかとの質問がありました。教育委員会から、校区内の通学路の状況を把握することは必要であり、保護者や地域の皆さんの協力を得ながら実施していきたい旨説明しました。
- ◆ 小さな学校でも他の学校とまとまって部活ができるような環境づくりをしてもらえれば、指定校変更で他の学校へ行く必要がなかったのではないかとの意見がありました。



【地域から】

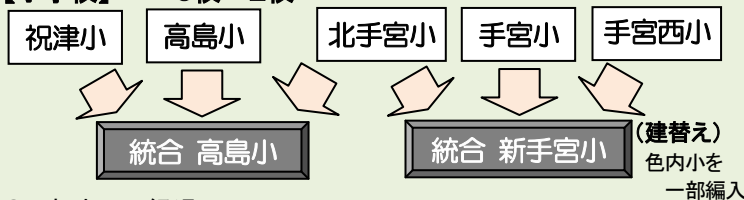
- ◆ 保護者や地域、教員と一緒に小規模校として優れた実践を積んできた忍路の小中学校を残すべき、また、適正な規模にこだわらず小規模校として残す考えはないかとの質問があり、教育委員会から、小規模特認校として残す考えはないが、何らかの事情で残った学校を小規模特認校とすることはあり得る旨説明しました。
- ◆ 指定校変更について、現在は部活動を理由に認めており、そのことが地域を疲弊させる原因となっているのではないかとの意見があり、教育委員会から、指定校変更の考え方が国から示され、いじめへの対応、通学の利便性、部活動など、どの市町村でも認められてよい理由である旨説明しました。
- ◆ 小学校、中学校は避難所となっており、住民の命を守る観点からも学校は残さなければならないとの意見があり、教育委員会から、現在市長部局で市全体の防災計画の見直しや検討を行っており、教育委員会としても会議の場を通じ地域の意見を伝えていきたい旨説明しました。

※ 平成24年小樽市議会第1回定例会に、「塩谷地域 子どものすこやかな成長を願う会」及び「塩谷・桃内連合町会」から陳情（小樽市立塩谷小学校及び塩谷中学校の存続方について）が提出されました。

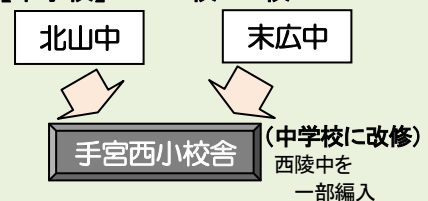
高島・手宮地区

《教育委員会のプラン》 ※この地区は小学校の再編を先行します

【小学校】… 5校→2校



【中学校】… 2校→1校



●これまでの経過

祝津小の懇談会では、高島小との学校規模の違いや路線バスによる通学への不安、児童の事前交流についての要望があり、平成23年9月に高島小と交流を実施しました。手宮3校の統合は、3校の保護者から手宮小の建替えをし統合校とすることは理解を頂いています。中学校は、北山中の老朽化や末広中の通学路における安全上の課題があることから、統合校の位置を現在地以外とすることに異論は出ていませんが、手宮西小を改修し統合校とすることに対しては、バス通学助成で2路線を使えるようにするなど具体的な内容を検討してほしいとの要望が出ています。

懇談会の開催状況

平成24年2月10日 祝津小・高島小合同（保護者・地域）

今回の懇談会では、祝津小・高島小の再編と高島・手宮地区の中学校再編について話し合いました。

■ 懇談会での教育委員会からの提案・説明内容 ■

- 中学校の統合校は、現手宮西小を中学校に改修し統合校とすること、また、手宮地区3小学校の統合新校は現手宮小の敷地に建設することとし、新年度に建替えに向け実施設計等を行う考えのほか、祝

津小の平成24年度新入学児童4人全てが指定校変更により高島小などへ入学し、昨年度に続き新入学児童がいないことから、できるだけ早い時期の統合を考えていきたい旨説明しました。

◆ 懇談会に参加者された方からの意見など ◆

【保護者から】

- ◆ 通学支援策の距離要件や検討した内容を示した上で協議しなければ、統合校の場所について説明されても納得できないとの意見があり、教育委員会から、手宮3校との話し合いや5小学校PTA役員との話し合いの経過を踏まえ、2路線利用の通学支援を行うことで理解を頂きたい旨説明しました。
- ◆ 手宮西小を中学校の統合校とした場合の通学支援策の距離要件を緩和できないかとの質問があり、教育委員会から、現在の通学支援策について説明したほか、土地の形状や通学安全対策など通学区域の線引きにより実態が異なることから、今後具体的な議論を進めていきたい旨説明しました。
- ◆ 懇談会の参加人数が少ない場合であっても、一人一人の意見は重く受け止めてほしい、また、手宮西小を中学校の統合校とすることを絶対にいやだという保護者はそんなにいないと思うことから、子供の安全対策をしっかりとお願いしたいとの意見がありました。



懇談会の開催状況 平成24年4月23日 祝津小（保護者・地域）

今回の懇談会では、祝津小と高島小の統合時期などについて話し合いました。

■ 懇談会での教育委員会からの提案・説明内容 ■

- 2年続けて新入学児童が入らず、全校児童8人の複式2学級、教員3人の配置で、教育環境向上のためにも早期の統合が必要であり、平成25年4月の統合も一つの考え方である旨説明しました。
- 高島小までは、現在の祝津小児童は通学支援の距離要件に該当することから、路線バスを利用した通学となること、また、児童交流は、両校の教員と内容を検討するとともに、高島小の授業参観や施設見学も検討したい旨説明しました。

◆ 懇談会に参加者された方からの意見など ◆

【保護者から】

- ◆ 3月のPTAの話し合いで平成25年4月の高島小との統合について、保護者として了解した旨説明がありました。
- ◆ 教員が減り学校として何もできない現状の中、通学支援や児童交流、子供のケア対策などを詰めてもらう方がよいとの意見があり、教育委員会から、子供たちがスムーズに移行するためにどのようなことができるか、早急に検討していきたい旨説明しました。
- ◆ 1年生を1人でバスに乗せるのは心配との意見があり、教育委員会から、他校では保護者が一緒に付いてくるケースもあることを紹介したほか、祝津地区ではバス通学の中学生もおり一緒に乗ってもらうことも考えられること、また、通学時の安全見守りなど、今後相談していきたい旨説明しました。
- ◆ 統合後のクラス編制について、祝津小の児童を同じクラスとすることはできないかとの質問があり、教育委員会から、量徳小の事例では、花園小、潮見台小との統合に際し、それぞれ統合協議会を作り、先生やPTAと話し合い、どういう学級編制が良いのか決めており、高島小でもどういう学級編制が良いのか、話し合っていきたいと考えている旨説明しました。
- ◆ 祝津地区は歩道もなく雪が多い地域で、冬はバス停に立っていただけ、危険なので何とかならないかとの質問があり、教育委員会から、歩道や除雪の問題など通学路の安全確認を行い、場合によっては保護者と一緒に、夏場と冬場それぞれ確認しながら安全対策をしていく旨説明しました。

【地域から】

- ◆ 保護者側の気持ちに変わりがないければ、平成25年4月の統合はやむを得ないとの発言がありました。

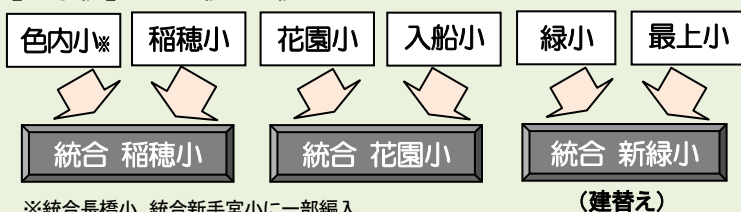


- ◆ 祝津地区には避難所が他にないため、この建物は残してほしいとの意見があり、教育委員会から、市で跡利用の考え方を作っており、担当部局に意見の内容を伝えること、また、市としては、常時管理している状況でなければ、避難所として建物を正常に保つことができない、普段の利用を含め考える必要があると聞いている旨説明しました。

中央・山手地区

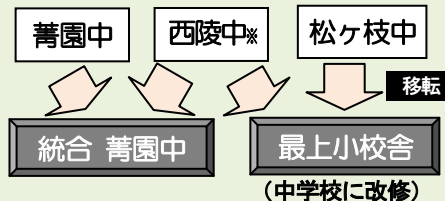
《教育委員会のプラン》 ※この地区は小学校の再編を先行しますが、併せて松ヶ枝中の移転を検討します

【小学校】… 6校→3校



※統合長橋小、統合新手宮小に一部編入

【中学校】… 3校→2校



※統合長橋中、手宮・高島地区の統合中学校(手宮西小校舎)に一部編入

- これまでの経過(緑小・最上小・松ヶ枝中)

緑小・最上小・松ヶ枝中のPTA役員との懇談会では、緑小を現在の小樽公園内の旧車両整備工場跡地に建替え最上小と統合する、また、中学校は築50年以上経過している松ヶ枝中の移転を先行させ、統合後の最上小を中学校に改修し、移転するプランに対し、一定の理解をいただいている状況です。

懇談会の開催状況

平成24年2月21日 緑小・最上小合同(保護者・地域)

今回の懇談会では、緑小・最上小の再編と統合校の位置について話し合いました。

■ 懇談会での教育委員会からの提案・説明内容 ■

- 緑小と最上小の再編は、緑小学校に隣接する旧車両整備工場跡地に統合新校を建設することとし、平成24年度に当該地の測量調査を行う旨説明しました。

◆ 懇談会に参加者された方からの意見など ◆

【保護者から】

- ◆ 緑小を建て替える場合の統合時期について質問があり、現在教育委員会が考えている工程としては、測量や公園の都市計画変更手続に約2年、実施設計に約1年、建設工事に約3年の6年程度となることを説明しました。
- ◆ 平成24年度に測量調査の予算を計上する考えが示されたが、なぜこの時期に提示されたのかとの質問があり、教育委員会から、市の新年度予算に関わり、一定の考え方が固まったこの時期でなければ具体的な提案ができなかった旨説明しました。
- ◆ 校舎の建築に6年～7年掛かるとの説明があったが、子供たちが耐震の課題がある校舎に通学することを考えると、1年でも2年でも早く完成させることはできないのかとの質問があり、教育委員会としても1年でも早く新しい環境の中で教育活動を展開したいと考えている旨説明しました。
- ◆ 教育委員会は統合校と考える学校は耐震補強工事を行い、そうでない学校は工事を予定していないのではないか、緑小や松ヶ枝中の耐震補強を行わないのであれば、しばらくの間、耐震性が確保された隣接の学校に児童生徒を振り分けることを考えても良いのではないかとの意見がありました。
- ◆ 最上小PTA会長から、旧車両整備工場跡地に統合新校を建てることに反対する声は聞いていないことから、その方向で支障はないと考える、また、松ヶ枝中を最上小に移転し、安全性を確保してほしいとの要望がありました。



【地域から】

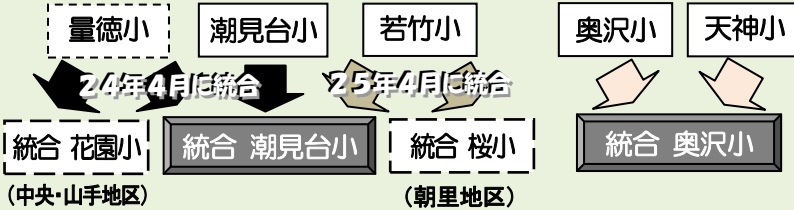
- ◆ 耐震化優先度調査の優先順位が高い緑小や松ヶ枝中の耐震化をせず、優先順位の低い長橋中など

の耐震補強工事を進めている理由について質問があり、教育委員会から、調査で優先度ランク①と判定された学校は建替えを前提としていること、また、耐震補強工事は学校再編と合わせて実施することとしているが、長橋中など中学校で将来にわたり9学級以上見込まれる学校は、耐震化することとした旨説明しました。

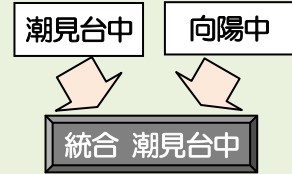
南小樽地区

《教育委員会のプラン》 ※この地区は小学校の再編を先行します

【小学校】… 5校→2校



【中学校】… 2校→1校



●これまでの経過（量徳小・潮見台小・若竹小）

量徳小は、平成24年4月に潮見台小、花園小と統合しました。若竹小は、平成25年4月に潮見台小、桜小と統合することとし、統合に向け発足した二つの統合協議会で準備を進めています。

～量徳小学校閉校式を挙行～

平成24年2月18日の午前10時30分から、量徳小体育館を会場に、小樽市及び小樽市教育委員会主催で閉校式を挙行しました。

当日は、北海道教育庁後志教育局長・北海道議会議員・小樽市議会議員・PTA会長などの来賓をはじめ、保護者、校友会、地域、近隣の学校長、量徳小教職員・児童、当日の一般参加者など470名の参加がありました。



式では、中松小樽市長、高木小樽市教育委員会委員長、吉田量徳小学校長、佐藤量徳小PTA会長から挨拶があり、その後、校旗が校長から市長に返納されました。この後、児童による呼び掛けが行われ、運動会や潮ねりこみ、学芸会など、最後の1年に取り組んできた思い出を元気な声で発表していました。

最後に、参加者全員で校歌を歌い、量徳小138年の歴史に別れを告げ、式は終了しました。



◆量徳小学校・潮見台小学校・若竹小学校統合協議会◆ 第8回 平成24年3月22日

◇新学期からの通学路の安全確保◇

町会や見守り活動を行っている団体と行った意見交換会で、量徳小校区の児童及び先行して潮見台小に通う若竹小校区の新1年生に対し、新学期は教職員や各団体、教育委員会で、通学路の交差点で見守り活動を行うこととなりました。

◇平成24年度の新潮見台小の姿◇

平成24年度は、1・2学年が2クラスの計8学級の学校で、放課後児童クラブの土曜日拠点校となります。また、量徳小から通級指導教室が移転開設されます。潮見台小早川校長から、新潮見台小の特色として、集団の中で自分の役割や責任を果たすことを身に付ける『キャリア教育』の充実を目指し、地域のお店などに協力を頂き職場体験を行っていく旨報告がありました。なお、平成25年4月には若竹小との統合があり、今後もそれに向けて協議を進めていきます。



◆花園小学校・量徳小学校統合協議会◆ 第7回 平成24年3月23日

◇新学期からの通学路の安全確保◇

町会や見守り活動を行っている団体と行った意見交換会で、量徳小校区の児童に対し、新学期は教職員や各団体、教育委員会、通学路の主な交差点で見守り活動を行うこととなりました。



◇平成24年度の新花園小の姿◇

平成24年度は、クラス替えができる各学年2クラスの計12学級の学校となり、また、放課後児童クラブの土曜日拠点校になります。花園小寺澤校長から、新しい学校づくりの取組として、保護者や地域の方の協力を頂き新しい教育目標を作り上げたことなど、地域参画でできた新花園小では、自分も他の人も大切にできる『いのちの教育』の実践を目指した教育活動を行っていく旨報告がありました。

※今回の協議会で「花園小学校・量徳小学校統合協議会」は終了いたしました。

☆ 統合協議会ニュースは市のホームページに掲載しています ☆

『統合の会』を開催しました！



潮見台小:教育目標の披露

平成24年4月5日に、量徳小の統合校である潮見台小、花園小で、来賓や地域、保護者の皆さんに御出席を頂き『統合の会』を開催しました。

会では、教育委員会委員長、学校長、PTA会長の挨拶に続き、児童代表が新しい学校で取り組みたい思いを力強く述べました。両校とも最後に、新しい教育目標を披露し、統合校として新たなスタートを切りました。



花園小:児童代表のこたば

◇平成24年度に実施する主な施設整備◇

花園小

■学校施設の耐震化など■

桜小



花園小は、校舎の耐震補強工事及び体育館の増築、耐震補強工事を実施します。若竹小の統合校となる桜小は耐震補強実施設計を行います。

長橋中、桜町中は平成23年度に引き続き、校舎の耐震補強工事及び大規模改修を実施します。



■校舎の建替えに向けた準備■

【高島・手宮地区】

手宮地区3小学校(北手宮小・手宮西小・手宮小)の統合新校の建替え(手宮小の位置)のための実施設計等を行います。

【中央・山手地区】

山手地区小学校(緑小・最上小)の統合新校の建築に向けて、旧車両整備工場敷地の測量調査等を実施します。

■通学路の整備■

【潮見台小】

南小樽駅付近から潮見台小への通学路(東通線)となる真栄橋の歩道設置工事を行います。



【桜小】

若竹町から桜小への通学路となる桜1号線(平磯公園から桜町ロータリーへ向かう道路)の海側に歩道設置工事を行います。



この後の状況は「学校再編ニュース(第6号)」でお知らせします